

外務大臣 茂木敏充 殿

2020年4月6日

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン  
特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

**【子ども支援の国際 NGO からの提言】**  
**新型コロナウイルス感染症による影響から子どもの権利を守るための ODA の拡充を**

日本政府は先月、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）緊急対応策第二弾の一部として、感染拡大国・国際機関への緊急支援 155 億円の拠出を決定しました。迅速な国際支援の決定を歓迎いたします。

現在、さらなる対応のために補正予算編成を含む政府での議論、具体策の実施などが進められていると存じます。これら一連の対応に ODA による国際支援も盛り込まれる方向だと聞いておりますが、ぜひそうした ODA による支援の拡充と、世界でも特に取り残された子どもたちに対する支援を優先して実施していただきますよう、お願い申し上げます。

貧しい国々に暮らす子どもたち、なかでも格差・差別等により社会において脆弱な立場に置かれた子どもたちは、不十分な保健医療体制や衛生環境の未整備、栄養不良などのため、より大きなリスクにさらされています。また、長引く休校等により学ぶ機会が失われています。家庭においても虐待の増加など、子どもたちは精神的なストレスや物理的な暴力にさらされるリスクが高まっています。さらに、紛争下にある子どもたち、難民の子どもたちの状況はより深刻です。これらのリスクが不均衡に女の子にのしかかっていることも見逃すことはできません。

子ども支援の国際 NGO である私たちは、子どもたちの権利が奪われる状況が日々悪化し、またそのことにより、長期的かつ取り返しのつかない影響を子どもたちに及ぼすことを大変懸念しています。持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも多大な影響が出るでしょう。子どもの権利を守り、SDGs の基本理念である「誰ひとり取り残さない」を実現するために、COVID-19 の影響を最小限にとどめるよう国際社会の努力と連帯が必要とされています。日本政府として、すでに進められているこうした支援に、さらに積極的に貢献してくださるよう、以下のことを提言します。

**【提言】**

- ✓ 4月以降予定されている大型補正予算等において、ODA 等による国際支援を拡充してください。すでに行われている支援が必要以上に削減されることなく継続できるよう、新規の資金拠出をお願いいたします。
- ✓ グローバルレベルの基金（Global Humanitarian Response Plan 等）への積極的な貢献を行ってください。また、こうした国際的なイニシアティブの計画から実施に至るまでのあらゆる過程に市民社会が参画できるよう、働きかけてください。
- ✓ 特に子どもたちの命・生活に重要な生計支援、保健・栄養、教育、ジェンダー、子どもに対するあらゆる暴力からの保護等の分野への支援に重点を置いてください。とりわけ、脆弱な立場におかれやすい貧困層の子ども、難民・国内避難民の子どもや紛争地域に住む子ども、女の子、障害のある子ども、少数民族の子ども、セクシュアル・マイノリティの子どもなどの権利が守られるよう配慮してください。
- ✓ 二国間および多国間を経由する支援に加え、地域に根差し、最も手の届きにくい人々に直接緊急支援を行っている国内外の NGO への支援を拡充してください。
- ✓ 既存の ODA 事業においても、パンデミック対応のために予算を柔軟に転用できるよう、配慮をしてください。
- ✓ 国連事務総長より、COVID-19 という地球規模の課題解決のため紛争当事者に対し即座の停戦の呼びかけがなされているところですが、この呼びかけを積極的に支持し、紛争当事国・当事者に可能な限りの働きかけを行ってください。

以上

**【本提言に関するお問い合わせ】**

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（担当：大野）Email: [japan.advocacy@savethechildren.org](mailto:japan.advocacy@savethechildren.org)  
公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン（担当：澤柳）Email: [advocacy@plan-international.jp](mailto:advocacy@plan-international.jp)  
特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン（担当：柴田）Email: [advocacy@worldvision.or.jp](mailto:advocacy@worldvision.or.jp)